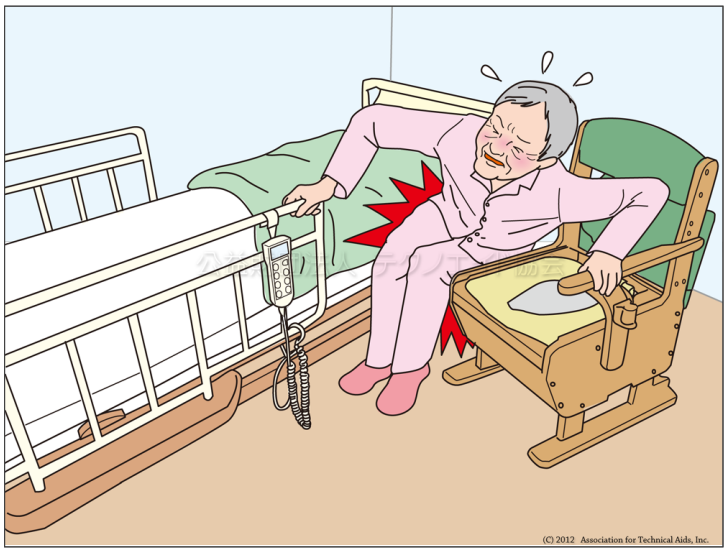
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：28
ベッドとポータブルトイレの間に入り込んでしまい、ケガをしそうになる

場面の説明

ポータブルトイレを利用しようと、一人でベッドから移乗しようとしてうまくいかなかった



利用シーン	移乗 立ち座り 排泄
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	腰掛便座
分類コード (CCTA95)	091203 (ポータブルトイレ)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

ひとりで移乗できない人が、介助者を呼ばずに移乗したため、このような状態になってしまうことがあり、ポータブルトイレをベッドサイドに置くこと自体が事故のきっかけとなることも考えられます。また、キャスタ付きのベッドの場合は、移乗の際にベッドが動いてしまうことが考えられるため、キャスタのロックを確認するなど、安全を確保しましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：移乗をひとりで行える身体状態ではなかった
人：ベッドのキャスタのロックをかけ忘れていた
環境：床面がすべりやすかった
環境：ベッドとポータブルトイレの高さが適切ではなかった
環境：ベッドとポータブルトイレの間に隙間があった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.